

文化振興基本 計画の推進を



野口 保信

文化振興基本計画がいよいよ発表されるが①市民に大きくアピールするキックオフイベントは開催するのか②重要施策の一つに以前から要望してきた佐賀市民芸術祭の開催があるがスケジュールなど、どのように推進していくのか。

答弁 ①適切な時期、内容を検討し、市民の方々の印象に残るような企画を実施したい②第1回市民芸術祭を25年度に開催する予定。そのための準備として、24年度当初に市民芸術祭実行委員会準備会を開催し、芸術祭の大枠について検討。7月ごろ市民芸術祭実行委員会を開催し、全体の企画マネジメント、スケジュール管理、参加団体の調整などを行う予定。また、経費

の見積もりを行い25年度予算に反映させたい。ただ、初年度は小さく始めて年々規模を拡大していきたい。

◆その他◆防災施策について/災害に強く、緑を守り

間伐材を生かす「フォレストベンチ工法」の導入について

◆その他◆防災施策について/災害に強く、緑を守り間伐材を生かす「フォレストベンチ工法」の導入について



3月13日(火)

観光振興にパークゴルフ場の活用を



川原田 裕明

北部九州で最大のパークゴルフ場が平成25年4月オープンを目標に整備されているが①オープンに合わせて、地域との連携準備は進めているのか②管理体制はどのようなものか③関係部署との連携はどの

のようにしていくのか。

答弁 ①県内はもとより、県外から多くの利用者が見込めるので、パークゴルフと温泉宿泊がセットになった旅行商品の開発など、利用者へのニーズを視点を置き、旅館組合等と連携しながら積極的に取り組みたい②地元を交えて検討を行うっており、きちんとした管理体制

ができるように進めたい③関係部署と連携しながら取



パークゴルフ場建設予定地

り組むとともに、市の体育協会など、スポーツ振興にかかわる団体とも連携してパークゴルフ人口をふやすとともに、市外からの観光客の増加にも努めたい。

◆その他◆中心市街地活性化について

※1 ミストシャワー の設置を



野中 宣明

猛暑による熱中症の被害が近年深刻化している。その暑さ対策のひとつとなり得るミストシャワーを設置すべきと考える①前回、学校施設などへの設置を提案していたが、その検討結果は②市公共施設へ設置する考えはないか。

答弁 ①市立幼稚園及び保育所に試験的に設置し、

検討した結果、大変好評であったため、全市立小・中学校にミストシャワーのキットを配付している。またス

ポーツ施設としては必要要件を満たす大和中央公園体育施設に設置予定である②市公共施設への設置については、

具体的な設置場所や費用等いろいろな角度から研究をしている状況で、今の段階で即設置することは考えていない。しかし非常に効果があると考えてい

るため、設置に対して前向きに取り組んでいきたい。

◆その他◆佐賀市農業振興基本計画の取り組みについて



ミストシャワー

市施設の防犯 対策強化を!



池田 正弘

市施設内での迷惑行為、不審者等の事案が時々見受けられる。利用者の安心・安全のため、職員の連絡体制、非常時の対応、常日頃の安全点検などを盛り込んだ防犯に関する対応マニュアルを作成し、研修訓練

に活用すべきではないか。

答弁 市の施設においては、施設利用者及び勤務者の安全、財産の保全を確保し、犯罪を防止するための防犯体制対策が必要。学校においては、すでに文科省の基準に沿って危機管理マニュアルが作成されている。本庁や支所においては国交省の基準を参考に作成したい。保育所、公民館、文化施設等その他の施設に

においては、使用形態や面積建物の階数など、それぞれの施設の特徴に応じた防犯マニュアルを作成する必要があると考えている。

◆その他◆メディア中毒の危険性について



※1 ミストシャワー：水道水を微細な霧状にして噴射し、周辺気温を下げる効果がある。

学校給食での地産地消の状況は



久米 勝博

市には安全で安心な農産物が多彩にあり地産地消の促進が必要と思われるが①学校給食での食材の調達がスムーズに出来るよう栄養教諭、JA、生産者組織、青果市場との協議の場が必要では②食材を供給できる産地作りを振興すべきでは

答弁 ①学校給食のよう

農業後継者の育成・有害鳥獣対策は



山田誠一郎

①今後の農業後継者の育成は②南部地区の鳥獣による被害の現状は③有害鳥獣に対する対策は④電気ネット防護柵に対する支援策は⑤わなによる駆除はできないか⑥市から箱わなの貸付はできないか⑦県やJAと連携して対応すべきでは

に大量に調理を行う場合、規格・価格の問題が生じ、食材連絡会の制度に当てはめるのは難しいと考える②新たな作物や品種の生産導入、産地形成を推進するため

の巧みな特産物開発事業による試験栽培の支援や、今年度から普及センター、JA佐賀、市が連携し、集落営農組織に収益性の高い園芸作物の生産振興を図ったり、また、担い手協議会において機械の導入補助を新設し推進を図ることで、

答弁 ①認定農業者、集

落営農組織の育成などに取組んでいる②南部地域の農作物被害額は鳥類で約600万円、中型獣類で約450万円③新年度からは鳥獣保護法に基づき捕獲を全市8地区で実施④国、県の補助に上乗せ支援の実施予定⑤4月から狩猟期間外でも市の捕獲許可等により、自ら管理する農地等での小型箱わななどの設置が可能⑥JA等からの要請により、



小学生の田植え体験

学校給食への使用品数も増えてくると考える。

◆その他◆国から示された新たな農業政策に食糧自給率向上のための振興策は反映されているのか。

小型箱わなを貸し出す予定ただし、捕獲した獣類は自分で処理することが前提⑦今後研究していきたい。
◆その他◆健康増進及び介護予防について



電気ネット防護柵

3月14日(水)

各種審議会・委員会のあり方に基準を



中本 正一

①審議会・委員会の設置状況、公募委員や女性委員登用の現状は②審議会と委員会の委員の身分や処遇の違いは③委員重複の現状は④審議会等の設置・運用・委員選任・公募委員の登用透明性の確保等、包括的な

基準作りに着手すべきでは

答弁 ①昨年6月の調査では、審議会・委員会の数が82、委員が1787人。公募の委員は37人、全体の2・1%。女性は675人、37・8%②審議会の委員は地方公務員法上の身分を持つが、委員会の委員は持たない。審議会の委員には条例等の規定に基づき報酬を支給、公務災害適用。委員会の委員は条例を準用して

インフルエンザの予防対策を



重松 徹

①小・中学校でのインフルエンザの発生状況は②学校の消毒液の設置状況は③各教室への加湿器の設置の考えは④加湿器の効果検証のため一部学校での試行は⑤インフルエンザワクチン接種の一部助成は

答弁 ①臨時休校はない。

報酬を支給。公務災害は原則適用なし③最高の7件重複が3人。3件以上重複では67人④現状を把握した上で、先行事例を参考にトータル的に検討していきたい。

◆その他◆政策形成能力の向上を図り、政策の最適化による市民福祉の向上を求めて／観光行政について



都市計画審議会



インフルエンザ予防のため手洗いの練習をする児童

1・2月の学年閉鎖は小・中学校の合計で10学年。学級閉鎖は62クラス②全小・中学校に設置。設置場所は各学校の判断③小・中学校で700余の教室がある。コスト面や効果の検証、器材の管理上の問題点もあり現時点では、うがい等の基本的な対策を徹底したい④教室における加湿器の能力、適正な湿度の確保、湿度と温度の検証等、試行は難しい⑤はしか等の予防接

種法に基づく法定接種を優先して対応するため、助成の考えはない。
◆その他◆新商工ビル(仮称)の入居予定者について

歩道の段差解消や道路環境の改善を



田中喜久子

生活道路や歩道の段差解消を求める声は大きい。バリアフリーの視点から市内道路の実態を調査、整理し、要望による応急補修とともに計画的補修事業もやるべき。また、道路整備方針を既存道路の長寿命化、バリアフリー化を柱とすべき。

答弁 安全、安心な歩行

空間の確保については、市の政策として取り組むべき重要な課題と考えている。

段差解消などの道路環境の改善は、これまでのような対応型ではなく、戦略的に必要な道路維持について計画的に取り組むべきと考えている。職員に対しては、まず実態を確認し、必要なところは財源も含め計画的に進めるよう指示している。今後は、あるものを大切に長く使っていくことが基本的な考え方だと思うため、



そういった姿勢で道路の維持管理に努めていきたい。
◆その他◆公契約に関するこの条例化へ向けた取り組みについて／水道行政について

放射線教育に係る副読本の取扱い



松永 憲明

今回の副読本は原発事故による環境汚染が抜け落ち、放射線の効用・共存が強調され、危険性や悪影響の認識が極めて甘い①原発事故と放射線教育への基本認識は②副読本の問題点への認識は③副読本の活用は教師の裁量権では？

◆その他◆福島原発事故の現状や避難生活の実態にも触れながら、小学校、中学校の段階から児童・生徒の発達に応じて、放射線に対する正しい基礎的な知識を身につけさせ、みずから考えて判断する力を育成することが大切である②放射線の学習を少なくともこの副読本だけで教えるものではなく、あくまでも資料の一部で

◆その他◆中山間地域の維持・再生について

◆その他◆中山間地域の維持・再生について



放射線副読本

姉妹都市・友好都市の紹介を幅広く



黒田 利人

佐賀市においては、姉妹都市・友好都市が4都市あり交流を深めているが、そのことについて、もっと幅広く市民に周知を図る必要性を強く感じる。本庁ロビーに4都市の紹介コーナーを設置してはどうか。

答弁 国際交流の活動は

次世代育成の視点からも大変大切な取り組みであると認識している。市役所ロビーの活用については、総合窓口や繁忙期における申請業務の臨時受付などによりスペースが限られている状況であるが、姉妹都市・友好都市との交流について広く市民に知ってもらうことが必要との意見は十分理解できる。掲示場所や期間なども考慮しながら、姉妹都市・友好都市の国旗や市

の概要、交流の内容などを来庁する市民にもっと知ってもらえるよう工夫したい。
◆その他◆学校現場における民間専門能力の活用について



本庁ロビー

3月15日(木)

下水浄化センター周辺の環境保全



川副龍之介

①処理水の放流による海産物や赤潮発生への影響は②海水調査による漁業者への対応状況は③汚泥堆肥の製造量と利用状況・利用者の反応は④堆肥化施設の費用対効果は⑤堆肥化施設による臭気対策と環境協定に

よる周辺住民への対応は。
答弁 下水浄化センターからの放流水量はごくわずかであるため、直ちに赤潮発生などの原因にはならない②放流水質や有明海の水質分析結果などについて、適時漁協に報告し、情報の共有化を図っている③供用開始以来、約2920トンの堆肥を製造した。農作物の成長がよく、害虫が来なくなつたなどの意見が寄せ

られ、おおむね好評である④供用開始以来、約4千万円のコスト縮減ができている⑤平成20年に周辺自治会等と臭気対策等の環境保全協定を結んでいる。
◆その他◆芝生グラウンドの整備について／公金収納手数料について



堆肥化施設

街なかの再生 に向けて



山下 伸一

①社会実験「わいわい！コンテナ」プロジェクトが1月で終了したが、その成果は②街なかの再生には、緑化も重要と考える。市民との協働にどのように取り組んでいくのか③喫煙環境の整備についての考えは。

24年1月までの実験期間中、

メディアカルツーリズムの取り組みを



嘉村 弘和

佐賀—上海間のLCC春秋航空の就航により、中国からの観光客誘致の期待が高まっている。誘致策としてメディアカルツーリズム（観光がてらに現地の病院で検診など受けるパッケージツアー）の取り組みを行う政主導で行ってはどうか。

累計1万4863名の利用

があり、社会実験としては良い結果を得られた②歩道の植栽ますやプランターへの花の植栽など、潤いや安らぎのある緑あふれるまちづくりへの取り組みを支援していく③人がいるところでの喫煙は煙草を吸わない方に不快感を与え観光客をもてなす舞台が台無しになるため、喫煙マナーを遵守していたり、パンフレットに明示するなどの対策をとる。



わいわい！コンテナ

◆その他◆facebookの活用を／市民荣誉賞制度の創設を

◆答弁◆宿泊や観光消費など、経済的な効果が大きいと認識しているが、現時点では、通訳の問題や直前になつてのキャンセル、また、医療事故、訴訟への対応などクリアすべき課題が多いのが現状である。まずは市の役割として、海外に向けて、佐賀の知名度を高め、医療機関や旅行代理店の意向を調整し、観光につながるPRをしたり、経済効果についてきちんと検証を行

い、同時に県と協議を図っていききたい。また、必要に応じて県内の市町とも連携を取って推進していききたい

◆その他◆佐賀市屋外広告物条例の周知について／廃屋対策のその後について／アセットマネジメント推進について



学校へのICT機器整備の拡大を！



松永 幹哉

佐賀市では全国に先駆け、ICT教育環境整備事業を推進し西与賀、赤松、若楠の各小学校でICT機器を用いた授業が展開され実証が進められている。一方でICT活用の学校間格差が懸念されてきた。ICT機器整備計画について問う。

は、授業の質が高まり、学習効果が大きいと期待できる。県や県内の他市町においても、ICT教育環境の整備に向けた方針が打ち出されており、佐賀市教委として

もその整備は大変重要なことと考えている。しかしながら、整備には多額の経費を伴うため、財政状況を考慮して進める必要がある。モデル校での実証を継続しながら検討を行い、まずは、授業の集中力向上効果が高い電子黒板、指導用デジタル教科書等の整備を推進していききたい。

◆その他◆教育政策（佐賀市の小中一貫教育・連携教育）について



佐賀市議会 6月定例会のお知らせ

6月4日（月）午前10時開会（予定）

※日程等については、定例会開会前に議会運営委員会会で協議され、定例会開会日に正式決定されます。決定次第、市のホームページでお知らせいたします。

本会議をぶんぶんテレビで生放送しています（開会中10時から最長17時まで）。市議会からのお知らせ、本会議の動画配信や議事録検索などを佐賀市ホームページに掲載しています。<http://www.city.saga.lg.jp/> をご覧ください。

平成24年4月1日

やまびこの湯がリニューアルオープンしました

